

「いま！」を練習中 (まど みちお作詞、木下 牧子作曲)

(まどさんの詩っていいな!!) 「いま！」を練習していると曲だけでなく「詩」にも引き込まれます。まどさんてどんな方?という思いがわいてきて、またネットで調べてみました。そこにまどさんの言葉が紹介されていました。他の詩を読んだり、まどさんの言葉にふれると、心にしみわたっていく理由がわかる気がします。このような歌を練習できることに喜びを感じます。この曲を表現できたら素晴らしいと思います。



(まどさんの言葉と詩)

「一生懸命になるっちゅうことは、自分が自分になること。一生懸命になれば一人ひとりの違いが際立つ。いのちの個性が輝き始める……。自分が自分であること、自分として生かされていることを、もっともっと喜んでほしい。それは、何にもまして、素晴らしいことなんですから……。ひとつのものがある時、そこには他の物はあり得ない。そういう(ものの存在の仕方)っちゅうものが、すごく美しく荘厳に思えて、その素晴らしさを言わずにおれなくなりました。」



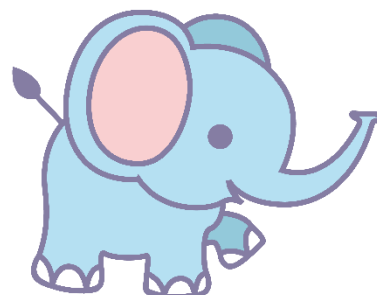
(ぼくがここに) まど みちお作

ぼくが ここにいるとき  
ほかの どんなものも  
ぼくに かさなって  
ここにいることはできない  
もしも ゾウがここにいるならば  
その ゾウだけ  
マメが いるならば  
その一つぶのまめだけしか  
ここに いることはできない  
ああ この うちゅうのうえでは  
こんなに だいに  
まもられているのだ  
どんなものが どんなところに  
いるときにも  
その「いること」こそが  
なににもまして  
すばらしいこととして

(「ぞうさん」の詩の事、まどみちお作)

この詩は、小ゾウが悪口を言われた時の歌だそうです。他の動物から見たら、鼻が長い君は、おかしい。しかし、子どものゾウはしょげたり怒り返したりせず、「大好きなお母さんも長いよ。」と朗らかに切り替えし、それを誇りにしている。

まどさんいわく「このゾウがこのように答える事ができたのは、このゾウがかねがねゾウとして生かされていることを素晴らしいことだと思い、幸せに思い、ありがたがっているから、誇りに思っているからです。」



いつでも見学にいらして下さい